

様式4

Web作成例 (入力完了後wordまたはPDFで作成)

報告日 (西暦) 20 年 月 日

■研究終了・□中止 報告書 (※いずれかにチェック)

旭川医科大学長 殿

研究責任者: 旭川 花子
申請者: 緑が丘太郎
所 属 : ○○講座 (申請者の情報)
職 名 : 助教 (同上)
E-mail: midtaro@asahikawa-med.ac.jp (同上)

コメントの追加 [A1]: 押印不要です。
システム上での申請 (送信) で完了。

研究責任者とは別に「申請者」は報告書へ出力
されます。

下記課題の研究を (□中止 ■終了) しましたので、下記のとおり報告します。

承認番号	20XXX (システムの試験情報が反映されます)
課題名	○○患者に対する▽▽を用いたXX治療法の確立 (同上)
研究期間	許可日～2021年3月31日 (中止また終了した日:2021年2月28日)
①得られた主要な 知見など	目標症例数50例 累計登録症例数 50例 ※研究結果を簡潔に記載
②有害事象及び 不具合の発生状 況等	☐ 無 ☐ 有 (有の場合、発生状況とその転帰を記入。重篤な有害事象報告 書が別にあれば添付でも可)
③遵守状況	■ 倫理指針 ■ 本学手順書 ■ 計画書・手順書 ☐ COI管理 ※遵守していればチェック
④成果公表に関 する情報	※論文投稿・学会発表、データベース登録などの情報を記載
①保存の有無*注1	■ 試料・情報 (連結情報含む) を保存する (→②へ記載が必要) ☐ 保存しない
②保存内容・方法	☐ 試料の名称 (具体的に:) ☐ 情報の名称 (具体的に:) ■ すべて研究責任者が保管 ☐ 上記以外の方法で保管 (具体的な保管方法や保管者を備考欄ま たは別紙に記載すること)
研究者教育講習会	■ 研究責任者・分担研究者とも一年以内に受講済み ☐ 受講していない者がいる →研修受講更新が必要です
モニタリング・監査 (介入研究で該当する場 合のみ)	モニタリング・監査 ☐ 有 ☐ 無 (有の場合、実施日 年 月 日)
備考	※問題点等あれば記載すること

中止または終了した日は研究期間終了前の日付となります。
提出日などではありませんのでご注意ください。

コメントの追加 [A2]: <研究結果>
得られた結果を簡潔に記載すること (300文字以
内)

コメントの追加 [A3]: ※倫理指針、手順書等を
遵守していなければ違反となり申請資格を失う
可能性があります。※全てにチェックとなりま
す。
<COI管理のみ任意>
利益相反自己申告書提出の場合のみチェック

コメントの追加 [A4]: <成果公表>
予定がない場合もその旨記載ください。

コメントの追加 [A5]: <試料・情報の保存>
計画書記載内容を遵守。研究データ (情報) は
終了後も保管が求められています。
※計画書の保管期間を確認してください。

コメントの追加 [A6]:
前回の報告時以降に実施した場合には必ずモニ
タリング報告書を添付してください。

*注1 侵襲を伴う介入研究の場合、研究終了後5年又は結果の最終公表後3年のいずれか遅い日までの保管が
必要。その他の研究も学会・ガイドライン等により推奨される保存期間があれば、それに従うこと。)